

# 建築人

2024

4

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.718





第 9 位	第 10 位
第 8 位	第 7 位
第 6 位	

# 建築人

2024.04 No.718

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

「大阪こちエエ」の連載が、2024年3月を以って終わりを迎えました。2021年4月から2024年3月の3年間36記事を、田籠哲也氏の躍動ある写真と牧野隆義氏の時節を捉えた魅力ある文体で飾って頂きました。ご両名への感謝の意を込めて、2024年4月と5月の2号に渡り、牧野隆義氏自らが選ぶ大阪こちエエTOP10を掲載致します。

## 大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

### ■第6位「大阪中之島美術館」

2022年3月掲載

遠藤克彦氏が大阪市制100周年記念事業の一つとして設計した「大阪中之島美術館」が2021年に竣工した。この中之島界隈は、新旧の建築が混在することによる新たな発見や、大川の水面に映し出された風景を眺めるだけでも飽きることなく楽しめる。

### ■第7位「七夕のゆうべ in 四天王寺」

2023年8月掲載

梅雨入りから豪雨による水害が頻発、その後は35度を超える猛暑日が続き、市民は疲弊している。2023年は4年ぶりに関係者からの強い要望により実行委員会を再結成し、クラウドファンディングによる資金調達を行い、ようやく開催にこぎつけられた。

### ■第8位「大阪マルビル」

2023年7月掲載

大阪・梅田のランドマークとして長らく親しまれてきた。屋上部に設けられた、ビルを一周する回転式の電光掲示板「コンピュータサイン」によるメッセージは、報道でもよく取り上げられた。47年の歴史に終止符を打ち、残念ながら見納めとなる。

### ■第9位「梅田スカイビル（最上階）」

2022年1月掲載

大阪市北区の新梅田シティ内にある超高層ビルは、地上40階・地下2階建てで、2棟の超高層ビルを頭頂部でつなげた連結超高層ビル。1993年に竣工した建物だが、歳月を感じさせない佇まいにより大阪を代表する建築と言える。

### ■第10位「夢洲（2025大阪関西万博会場）」

2024年1月掲載

大阪ベイエリアに位置する夢洲は、市内で発生した建設土砂等を利用してつくられた約390haの人工島だ。大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。その後のIRに繋がるきっかけとして、そして後世に受け継がれるものとして欲しい。

表紙の建築 「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」2022年

第42回 大阪都市景観建築賞 大阪市長賞 受賞作品  
基本計画・特区申請・基本設計：日本設計  
設計・施工：竹中工務店  
撮影：母倉知樹

大阪駅前に立つ地下3階、地上38階の大型複合施設です。低層部には百貨店やカンファレンス、高層部はオフィスが入ります。本計画は、老朽化した2つのビルの街区をまたいで一体的に建て替え、それと共に周辺公共施設整備と将来にわたる維持管理を行い、快適な都市環境を創造する都市再生事業です。

## 2 大阪こちエエ

### 4 Gallery 建築作品紹介

「蘇生会総合病院東新館」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「大成建設関西支店ビル グリーンリニューアル」

設計：大成建設関西支店一級建築士事務所

施工：大成建設関西支店

「metalab」

設計：奥和田健建築設計事務所

施工：カタヤマ建築工房

「CARVING」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：ヒロタ建設

### 8 第42回大阪都市景観建築賞 (愛称 大阪まちなみ賞) 入賞作品

### 12 動静レポート

### 13 Topics

### 14 News of Note

### 16 Information

### 18 記憶の建築

「弘前市民会館」1964年

風土に根づき、還暦を迎えて / 松隈 洋

## 建築人 No.718 2024年4月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：石上芳弘 梅田武宏 荻窪伸彦 河合哲夫  
大松俊祐 橋本頼幸 北條豊和 牧野隆義  
三谷勝章 武藤優哉 村上栄司 茂龍一之  
山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

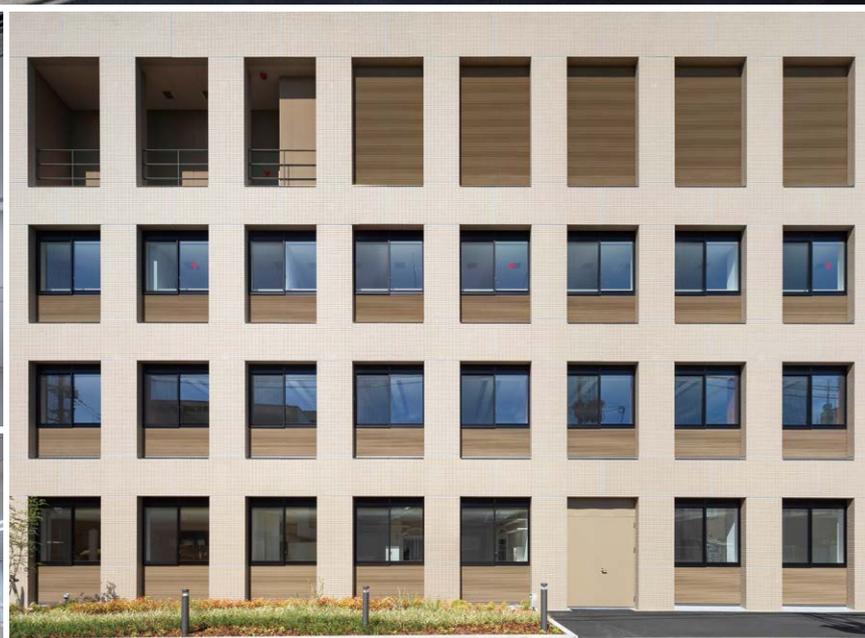
令和6年4月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

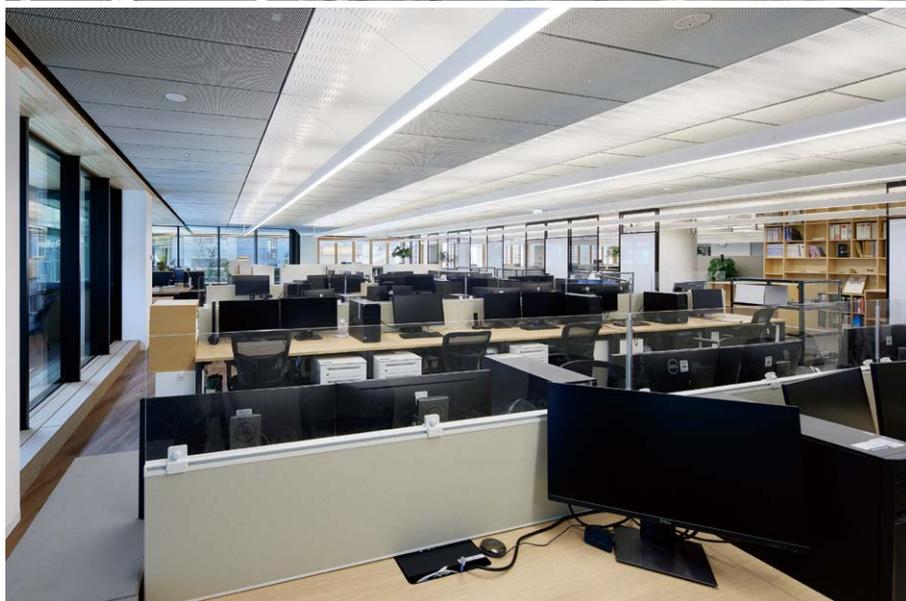
tel. 06-6947-1961



京都市南部エリアの地域医療を担う、基幹病院の増築計画。今回病院の主要診療機能（手術・救急・ICU・画像診断・透析）を既存本館から東新館に移転することにより、長年の課題であった老朽化・狭隘化を解決し、主要診療機能の拡充を図った。外装をPCa化することにより生命を守る外殻をつくるとともに、将来本館の建替えに対しても、柔軟に対応可能な計画とした。

（小泉充則）

所在地：京都市伏見区  
用途：病院  
竣工：2023.07  
構造規模：RC造、地上4階  
敷地面積：8,623.84㎡  
建築面積：984.40㎡  
延床面積：3904.51㎡  
写真：古川泰造



省エネ・創エネ・脱炭素・ウェルネス・スマート化・安心の6つのキーワードをもとに、人・建物・地球の健康に取り組む『グリーンリニューアル®』、特に省エネ・創エネ技術で既存建物をゼロ・エネルギー・ビルへ改修する取り組みを「グリーン・リニューアルZEB」と位置付け、大成建設関西支店ビルで実践した。多様なニーズに応えるZEB化先進技術・汎用技術のショールームとしての役割も担う本計画では、シーソー太陽光パネル+日射遮蔽ルーバー+緑化ユニットを一体化した外装多機能庇、薄型放射空調ダクト、高断熱窓システム、内部空間のテラス化等のZEB化技術を開発・採用し、リニューアルでZEB Ready/BELS★★★★★(BEI0.37)を達成している。また、既存建物がつ屋上緑化等のアイデンティティを受け継ぐバイオフィリックデザインも取り入れ、人々が生き生きと働くウェルネスオフィスを構築。改修～運用までの見える化も図り、来訪者がZEB・ウェルネスを実体験できるZEB化発信拠点の創出を目指した。

所在地：大阪市中央区  
 用途：事務所  
 竣工：2023.02  
 構造規模：RC+S造  
 地上9階・地下2階  
 敷地面積：1,956.60㎡  
 建築面積：1,427.28㎡  
 延床面積：13,651.55㎡  
 写真：エスエス大阪支店  
 秋田広樹

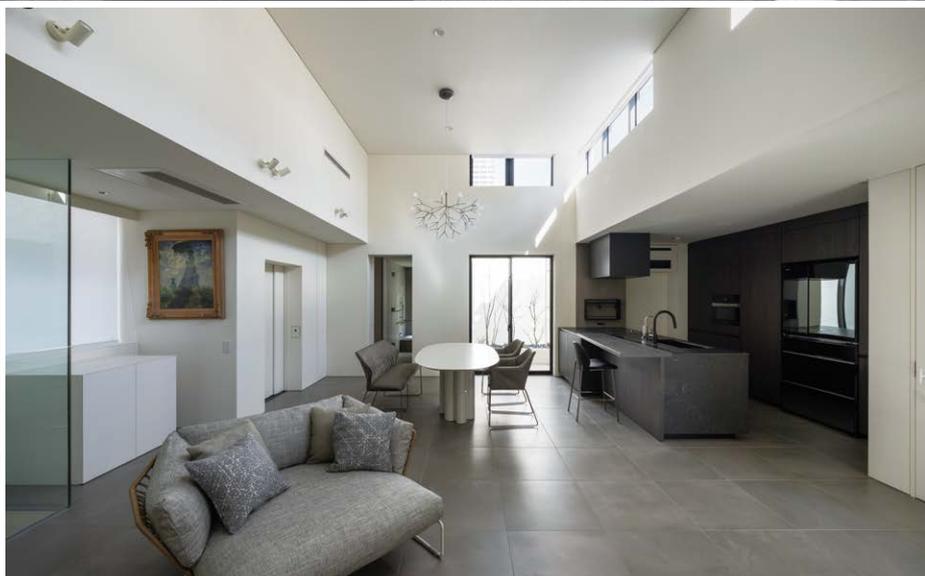


本建築の敷地は和歌山北部紀の川近くの平野に存在する。北側には和泉山脈があり、南側には高野山がある。これらの山と畑に建築物が重なることで、この町の風景が形成されている。

地域の商工業は互いに助け合いながら地産地消する経済的風土を保っている。今回、施工プロセスに経済的風土を取り入れ、躯体工事以外の各工程を分離し、町の商工業者に分離発注することで、本建築に社会性を与えた上で地域性を与えている。

本建築は外壁と屋根が、施主支給のステンレスで囲まれている。その形状は山の稜線と地域建築の屋根の勾配により決定している。それらが山や畑と重なることで、地域の風景に溶け込むことを意図している。

ステンレス加工：山本製作所BASE  
 板金：内田板金工作所  
 電気：松本電気  
 給排水：紀北環境衛生センター  
 所在地：和歌山県かつらぎ町  
 用途：展示施設  
 竣工：2023.04  
 構造規模：木造1階建  
 敷地面積：170.18㎡  
 建築面積：66.15㎡  
 延床面積：59.21㎡  
 写真：山田圭司郎 YFT



計画地の周辺環境はマンションや立体駐車場に囲まれた角地であった。日中は車通りが少なくはなく、東側に中学校、隣地には個人塾があるため人通りも多い。敷地を余すことなく建物を計画し、周辺からの視線に対して閉じつつ広がりのある構成を目指した。  
角地の敷地を包み込むようなRC造の曲面壁によりプライバシーを確保し、南北のライトコートに面してデッキを設け、各居室・LDKと連続させて広がりを感じられる空間構成とした。施主の手掛けたSUS製門扉はファサードの顔となり、緩やかに周辺と内部を分節している。

所在地：大阪府大阪市  
用途：専用住宅  
竣工：2024.02  
構造設計：木構造建築研究所 田原  
構造規模：RC造 地上3階  
敷地面積：137.72㎡  
建築面積：93.79㎡  
延床面積：302.31㎡  
写真：下村写真事務所

# 第42回大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ賞)入賞作品

主催 大阪府・大阪市・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会・(一社)日本建築協会

◆表彰目的 周辺環境の向上に資し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心とするまちなみを表彰することにより、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

◆対象 大阪府域内の建物(平成30年8月1日から令和4年7月31日までに完成したもの)及び建物を中心としたまちなみ(令和4年7月31日までに完成したもの)で、一般の方々から推薦を受けたもの。

◆審査委員 ※50音順 審査委員長\*

木村 哲人(報道)  
毎日新聞大阪本社社会部長

寺地 洋之(建築)  
(公社)大阪府建築士会特任顧問

村地 譲一(建築)  
(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会幹事

嶋 高宏(デザイン)  
(一社)総合デザイナー協会代表理事兼理事長

中嶋 節子(建築)  
京都大学大学院人間・環境学研究所教授

若本 和仁(都市計画)  
大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻准教授

下村 泰彦\*(造園)  
大阪公立大学 名誉教授

藤本 英子(芸術)  
京都市立芸術大学美術学部デザイン科教授

◆審査総評

本年度の審査対象は、52件(建物49件、まちなみ3件)であり、例年通り審査資料にもとづいた1次審査で11件を選出し、現地審査による2次審査を行った。今回から、現地審査においては「景観賞」であることを鑑み、敷地周辺の公的空間から視認して審査することとし、敷地内部景観に関しては、一般利用者等が自由に敷地内部に入れる場所からの視認性に限定した。さらに、対象施設間での公平性確保のため、現地での設計者等の説明を割愛することとして実施した。

2次審査では、まず投票が集中した上位3点について、「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」に大阪市長賞を、「守口市立さくら小学校」に大阪府知事賞を、「石切回廊」に審査員特別賞を授与した。「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」は、圧倒的な壁面緑化等が梅田のシ

ンボリックな景観を形成している点を評価し、「守口市立さくら小学校」は、周辺戸建住宅群との統一感に配慮して分節化した2階建て勾配屋根校舎のデザインと周辺地域への緑の供給性とを評価した。また、「石切回廊」は、石切劔箭神社の参道商店街の起点という立地に配慮したデザインを評価した。緑化賞ならびに建築サイン・アート賞については、議論の結果、市街地イメージを激変させた圧倒的な緑地空間の創出と立体サイン・建物壁面への夜間照明などを評価し、両賞を「OMO7大阪 by 星野リゾート」に授与することとした。

奨励賞を授与した「NTT WEST i-CAMPUS (A棟・QUINTBRIDGE)」は、大規模敷地内での密集した建築群の中に多様な緑地景観を創出しており、「大塚製薬 大阪創薬研究

センター」は、緑豊かな自然環境に溶け込んでいた。「Ruelle sud/nord」は、住宅をセットバックさせて前面道路側への空地を生み出し、「上町メディカルテラス」は、隣接する都市公園との連続性に配慮しており、「なんばSkyO」は、隣接する商業施設との連続的な景観を創出していた。今回、各賞を受賞した施設については、立地や建物用途は多岐に亘るものの、隣接建物やまちなみ、周辺環境・景観に配慮している点が共通しており、本賞が「まちなみ賞(俗称)」であることが再認識された。



審査委員長 下村泰彦

## 審査風景



## 大阪府知事賞 守口市立さくら小学校



建築位置：守口市東光町2-1-4

完成年月：2021年3月

主用途：学校

建築主：守口市

設計者：(株)昭和設計

施工者：南海辰村建設(株)

撮影者：松村芳治

〈講評〉当施設は、2校の統合小学校として整備される際に、校舎を勾配屋根の2階建てとして分節化することにより、周辺地域の低層戸建住宅群との景観的な統一感を図っている。外構計画では、100年以上にわたり地域の歴史を象徴する3本のクスノキを保存するとともに、敷地境界からフェンスをセットバックして花壇やベンチを設け、交差点部にはポケットパークを設置するなど、人々が交流できるようなスペースと季節感のあるみどり景観を提供している点を評価した。

(審査委員長 下村泰彦)

## 大阪市長賞 大阪梅田ツインタワーズ・サウス



建築位置：大阪府北区梅田1-13-1

完成年月：2022年2月

主用途：商業施設 オフィス

建築主：阪神電気鉄道(株)・阪急電鉄(株)

設計者：(株)竹中工務店

(株)日本設計(基本計画・特区申請・基本設計)

施工者：(株)竹中工務店

撮影者：母倉知樹

〈講評〉全長240mの低層ファサードは、外壁、植栽、市松状パネルによる3レイヤーの立面スキンを形成し、中央部では開口を開き、閉鎖しがちな百貨店内部の活気を溢れ出させて複合的な魅力を創出している。足元では、地下、地上、デッキレベルにおいて官民境界を跨ぐ3層歩行者網を構築し、都市の足元に賑わいを立体的に創出している。大都市の玄関口に相応しい品格と賑わいに加え未来志向な都市景観は、大阪の街に革新的な魅力を創出した。

(審査委員 寺地洋之)



## 審査員特別賞 石切回廊



建築位置：東大阪市東石切町1-5-24  
完成年月：2022年6月  
主用途：商業施設  
建築主：寺田秀興  
設計者：(株)遊墨設計  
(学)近畿大学建築学部 都市計画研究室  
Garden design office 萬葉  
施工者：真正工業(株)

〈講評〉敷地は、100年以上続く石切参道商店街の西の起点にある。建物のボリュームや形態、仕上げ等を周辺の建物と調和させているのはもちろんだが、敷地利用計画が素晴らしい。敷地の広さと四辻に面する立地を活かして緑豊かな庭を道に大きく開き、その奥に開放感のある建物を配置している。これにより、石切参道商店街に新しい魅力的な景観を提供するとともに、これからの景観まちづくりの可能性の一つを示したと言える。  
(審査委員 若本和仁)

## 緑化賞／建築サイン・アート賞 OMO7大阪 by 星野リゾート



建築位置：大阪市浪速区恵美須西3-16-30  
完成年月：2021年11月  
主用途：ホテル  
建築主：星野リゾート  
設計者：日本設計  
東環境・建築研究所  
オンサイト計画設計事務所  
岩田尚樹建築研究所  
施工者：竹中工務店・南海辰村建設共同企業体  
撮影者：ナカサアンドパートナーズ

### 〈講評〉 緑化賞

JR新今宮駅のホームからの景観を一変させたのが、「みやぐりん」と呼ばれる緑化広場である。ホテル利用者だけの利用緑地とはいえ、これまで緑の潤いが全く見られなかった都会の密集地に、約7600平方メートルという緑地を持ち込んだこの計画は、大きな地域貢献である。しかも単に広がる緑ではなく、建物から段々に織りなす道、ウッドデッキ、中央の芝生広場、屋根下での人々のアクティビティなどを、一体的に見せて都市部緑地の魅力も醸し出している。

### 建築サイン・アート賞

今や各地で見られる、地域の名前を活用した大型立体サインだが、ここでは「OMO7」の文字が、緑化賞でもある「みやぐりん」とホテル本体を背面に見る敷地の角に設置されている。SNS発信に最も優れたアングルである。夜には膜材で仕上げられた建物の外壁そのものが、メディアファサードとしてコンピューター制御されたLED照明での演出が展開される。新たな大阪の観光スポットとしての展開を期待する。  
(審査委員 藤本英子)



## 奨励賞 上町メディカルテラス



建築位置：大阪市中央区内久宝寺町2-23-1、23-3、23-4  
 完成年月：2022年3月 主用途：医療施設  
 建築主：濱野 裕・濱野敦子 設計者：ジーク(株) 大和ハウス工業(株)  
 施工者：大和ハウス工業(株)  
 撮影者：(株)ワイケープロデュース Taehyun Yoo

〈講評〉公園を借景にしてヒューマンな温かい印象を与えてくれる。とくにビルの壁面の素材感(木製縦格子)が、この建物があることで、地域の空気感をなごやかにまとめる役目も果たして周りの町環境とフィットして素晴らしい。  
 (審査委員 嶋 高宏)

## 奨励賞 NTT WEST i-CAMPUS(A棟・QUINTBRIDGE)



建築位置：大阪市都島区東野田町4-15-82  
 完成年月：2021年10月 主用途：事務所  
 建築主：NTT・TCリース(株)(事業主：西日本電信電話(株))  
 設計者：(株)NTTファシリティーズ 施工者：(株)竹中工務店大阪本店  
 撮影者：フォト・ビューロー 庄野 新

〈講評〉本社機能という容積を追求しない計画だからこそ生まれた余裕のある外部空間の中で特に処理が難しい建物の間の空間を敢えて緑の川として柳やもみじなど多様な植生をきめ細やかに計画した力量は特出すべきものがある。京橋というビル群や住宅など雑多な周辺環境の中にこのような良質な緑の空間を創出した意義は大きい。  
 (審査委員 村地譲一)

## 奨励賞 大塚製薬 大阪創薬研究センター



建築位置：箕面市彩都粟生北5-1-35  
 完成年月：2022年7月  
 主用途：研究所  
 建築主：大塚製薬(株)  
 設計者：KAJIMA DESIGN  
 施工者：鹿島建設(株)  
 撮影者：福澤昭嘉

〈講評〉正面を覆う銀色の斜め柱は、最先端の研究施設を印象づけるのに十分な役割を果たしている。背景にある山々とも調和した景観を作り上げているのは、建築デザインの妙だろうか。緑化された法面と相まって清新さがあふれ出ている。  
 (審査委員 木村哲人)

## 奨励賞 なんばSkyO



建築位置：大阪市中央区難波5-12  
 完成年月：2018年9月  
 主用途：事務所  
 建築主：南海電気鉄道(株)  
 設計者：(株)大林組  
 施工者：大林組・竹中工務店・南海  
 辰村建設共同企業体  
 撮影者：井上 登  
 (井上登写真事務所)

〈講評〉大阪を代表する景観軸、御堂筋の南側アイストップに位置する。歴史的建造物の南海ビルと低層部の軒線を一致させることで、地域の歴史に敬意を払うとともに、低層部から浮かせたゲート形状の高層部が都市的な景観をかたちづくる。再整備が進むなんばの景観を牽引する作品として評価された。  
 (審査委員 中嶋節子)

## 奨励賞 Ruelle sud/nord



建築位置：吹田市泉町4-38-28  
 完成年月：2021年12月  
 主用途：共同住宅  
 建築主：(株)NITERA  
 設計者：生川慶一郎  
 (京都美術工芸大学)  
 奥田紘太郎建築事務所  
 施工者：(株)住まい工房集  
 (株)荒木造園設計  
 撮影者：生川慶一郎

〈講評〉爽やかな表情をみせてくれて心地よい共同住宅だ。四季を楽しませてくれる植栽にも、よく気配りされた細やかなセンスが随所にちりばめられ、スケールの大きなビルにはない、人と人のふれあいを醸成する温かい気持ちにさせ景観としても素晴らしい作品だ。  
 (審査委員 嶋 高宏)

## 会長動静

- 2/26 上海研修旅行  
(上海市建築学会に表敬訪問)
- 2/27 大阪府収用委員会
- 2/28 確認申請のプロ養成講座
- 2/29～3/1 長野県建築士会訪問  
(広域災害調査協議)
- 3/ 6 千早赤阪村長面談(急ぎよ中止)
- 3/ 7 近角連合会会長及び井上・橋本元  
国交省住宅局長と面談
- 3/ 8 大阪府収用委員会
- 3/10 大阪府建築士事務所協会・樋上会  
長黄綬褒章祝賀会
- 3/11 河南町長面談
- 3/12 大阪府収用委員会  
日本建築士会連合会正副会長会議
- 3/13 島本町長面談  
在阪4団体会長・支部長会議
- 3/14 大阪府建築指導室長面談  
日本建築士会連合会理事会  
修成建設専門学校卒業式
- 3/15 日本建築士会連合会会議
- 3/19 理事会
- 3/20 滋賀県建築士会・福谷会長黄綬褒  
章祝賀会
- 3/21 大阪府公共建築設計コンクール表  
彰式、日本建築士会連合会役員候  
補者選考委員会
- 3/22 大阪芸術大学卒業式
- 3/25 東大阪市税務課協議

## 会長・役員による府内43市町村訪問

◎ 3/11 河南町・森田昌吾町長と面談



松村委員、岡本会長、森田町長

◎ 3/13 島本町・山田紘平町長と面談



春岡理事、石貫副会長、岡本会長、山田町長、みづまろくん

## 3月度 理事会報告

日時 3月19日(火) 16:00～17:30

場所 KKR ホテル大阪

出席 理事 39/47名 監事 2/2名  
名誉会長他 14名 役員候補者 10名

### (1) 入退会の承認

(人)	2月	入会	退会等
正会員	2,287	7	9
準会員	28	0	3
特準会員	24	0	0
賛助会員	144	0	0
計	2,483	7	12

### (2) 会計報告

(円)	2月計	累計
収入	6,503,554	148,500,997
支出	9,678,267	111,569,853
差引	△ 3,174,713	36,931,144

上表の当期経常増減明細を承認しました。

### (3) 令和5年度決算見込み

会費納入及びCPD登録は対予算で堅調に推移、試験事業の受験者及び定期講習など法定講習の受講者は減少傾向、既存住宅状況調査技術者講習はWeb開催での受講者増、耐震評価業務の件数増、行政受託事業の増収、会員名簿編集工夫による黒字転化、事務局職員数減による人件諸費の減額などの事象により約530万円の黒字で推移していることを報告しました。

### (4) 令和6年度の組織・会務分掌(案)

前年度を継承して公益目的事業に則った組織構成に準じた次期役員候補者を含む理事47名、監事2名による役員の会務分掌案を承認しました。

### (5) 令和6年度の事業計画

令和6年度事業計画について、公益社団法人としての基本目標を定めるとともに、公益目的事業部門は(公1)地域社会へ貢献を図る事業、(公2)建築文化の発展を図る事業、(公3)建築士の育成等を図る事業の3区分、及び収益事業部門とその他事業部門の3部門とした目的とその事業内容を承認しました。

### (6) 令和6年度の収支予算

令和6年度予算は各部門の実績提示額を基に審議し、収支総額12,000万円、差引額0円の予算を承認しました。

### (7) 資金調達及び設備投資の見込み

令和6年度は資金調達及び設備投資の見込みはないことを承認しました。

\*補足 本議案(5～7)の承認により公益認定法施行規則第37条(事業計画書等の提出)に基づいて府に提出します。

### (8) 定時総会の開催日時と会場

令和6年度定時総会は、5月22日にKKRホテルで開催することを承認しました。

### (9) 定時総会と大阪大会の記念講演者

令和6年度定時総会は齋藤公男氏(日本大学名誉教授)を迎えてご講演いただくことを承認しました。

翌年の建築士会全国大会「大阪大会」は大阪・関西万博のパビリオン設計等でもご活躍のCHRISTIAN SANDOR TSCHERSICH氏(ドイツ・LAVAディレクター)に依頼する方針を確認しました。

## 大阪市から高齢者住宅改修費給付審査業務を受託

令和6年度の「大阪市高齢者住宅改修費給付事業」の審査業務を、大阪市福祉局から昨年度に引き続き受託しました。

本事業は、居宅介護住宅改修費を利用する方に対し、介護保険制度を補完する制度として工事費用の一部を給付する大阪市独自の制度です。

本会では高齢者の住宅改修に詳しい女性委員会が中心となって担当しており、審査内容のチェック、訪問調査を行うなどの業務を担っています。

## 第18回国際企画海外研修旅行「ヒューデックの足跡を巡る～上海の作品群を見て回ろう！」

日時：令和6年2月22日(木)～2月26日(月)

会場：中華人民共和国上海市

参加者：12名



河野 学(国際委員会担当理事)

士会の上海市訪問は、2019年に上海市建築学会との交流協定を結んで以来です。あいにくの雨模様でしたが、それを吹き飛ばすような貴重な経験ができた研修でした。

国際交流について、まず始めに、上海建築学会へ表敬訪問を致しました。今まではコロナ禍により、直接の交流が困難でしたが、2025年の大阪万博、建築士会全国大会(大阪)にご来訪をお願いし、今後はより一層交流の場を持ちたい等の言葉を交わしました。

また、竹中(中国)建設工程有限公司の上海本店に訪問させていただき、上海での仕事や建築事情などについて、教えていただきました。

次に、上海の建築について、まず目に留まったところは、オフィスビルをはじめ、マンション、店舗等の高層建築が立ち並んでいることです。これが人口の多い中国を支える基盤の一つとなっており、設計・建設から維持・安

全管理、取り壊し、再開発に至るまで、終始、建築士・建築業界の重要さを物語っていると感じました。

また、本研修のテーマにあるラズロ・ヒューデックの作品は、「国際飯店」、「大光明大劇院」、「武康大樓」など多様な建物を見学することができました。ヒューデックは、ハンガリーで建築を学び、戦時中、ロシア軍捕虜になったところを上海租界に逃げ、上海に多くの建築作品を残しました。本研修は1週間足らずの限られた期間でありましたが、現地へ赴き、実際の作品に触れることができたことは、貴重な経験でした。

その他、上海の古い街並みを伝える「新場古鎮」・「南翔古鎮」、屠殺場をリノベーションした「19参III老場坊」などを見学し、多彩な上海の建築文化の一片を知ることができました。最後に、海外ならではの些細なトラブルはありましたが、参加者が貴重な経験をし、海外

研修を無事終えたことは、団長の岡本会長、副団長の横田副会長、コーディネータの森田特任相談役をはじめ、上海建築学会の皆様、竹中(中国)建設工程有限公司の皆様、大阪府建築士会事務局の皆様、参加者の皆様のご尽力・協力によるものであり、心より厚くお礼申し上げます。

本稿だけでは書ききれないことがあり、別途、報告会を開催させていただきたいと思っておりますので、その時は皆様奮ってご参加をお願いいたします。



上海市建築学会のオフィスにて

## 建築相談室から(82) 現地相談から③

今月も現地相談からご紹介します。現場相談は現地での確認、判断、アドバイスなどを瞬時にする必要があります。本会では効率的に相談対応できるよう、また意見が偏らないように複数名の建築士で行くことが原則とされています。複数人対応することで一人の負担を減らすことにつながります。

### マンション室内リフォーム工事不具合

築27年RC造分譲マンションの室内のユニットバス・洗面化粧台の取替工事を依頼した。仕上がりが悪いので現状を見てほしいとの相談。相談員の記録から、養生不足による廊下のキズが多い、ユニットバスがゆがんでいる、トイレの壁クロスがわずかに破れている、洗面化粧台内の給排水管取り付けカバーの施工不良を確認したとのこと。施工者からは40万円の値引き提案があり、現在簡易裁判所から調停申し立てされているとのこと。相談員は、調停なので譲歩で

きるところは譲歩して解決を図るべきで、ある程度のラインで金銭的解決するほうが望ましいと伝えていきます。

### 外壁塗装から次々リフォームに発展

築30年鉄骨3階建ての戸建て住宅の外壁塗装を行うべくネットで探した三つの施工業者から一社を決めた。合計4回の契約で総額500万以上を支払済。工事内容を疑問に思っただけで弁護士に相談の上で建築士会に現地相談依頼。外壁塗装に大きな問題は見られないが、基礎補強や小屋裏補強、断熱など悪徳リフォーム業者による被害と同じパターンと思われる、無意味であったり高額であったりする工事が多く、と記録されていました。

### ネットで探した業者とのトラブル

続いてもネットで探した業者とのトラブル事案。鉄骨3階建て一戸建て住宅の外壁・屋上防水・屋上物置の撤去をネットで探した業者に依頼。今も屋上は水がたまったまま

で、物置があったところは雨漏れがするようになった。その後外壁塗装工事でも高圧洗浄や下地処理を見積計上されているにもかかわらずされていないなどで、クレームを入れたものの工事を続行、足場撤去後、業者は来なくなった、という相談。屋上の不陸はモルタルで勾配をつくり防水施工をしているとのこと。シート防水では施工の難しい箇所も確認した上で、外壁高圧洗浄は減額合意ができています。下地調整は悪いとは言えないレベル。業者を変えずに工事を完了して全額支払う方が、業者の責任範囲を明確にするためにも好ましいとアドバイスしています。

### 現地相談の難しさとスキルアップ

複数の建築士が見ることで見落としに気づくことがあります。また他の建築士の見方などが学びにつながります。難しい面もありますがスキルアップにつながっていることが相談記録からも見て取れます。

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

## 近建青 研修事業「藤森照信×千利休 in 堺」

近畿建築士会協議会青年部会 令和5年度研修委員長 門川信一郎(京都府建築士会)



私たち近畿建築士会協議会青年部会(近建青)は近畿2府4県の建築士会青年委員会・部会からの出向者で構成され、「キンキハヒトツ!」の合言葉のもと、青年建築士相互の資質向上、地域に根ざした建築士としての様々な活動に対しての情報発信・共有、そして交流を通しての仲間づくりを目的に、個々としてだけでなく大きな輪となるよう幅広く活動を行っております。

2月10日に堺市で実施した令和5年度研修事業「藤森照信×千利休 in 堺」の概要を報告させていただきます。

今回の研修事業は、午前中の街歩き体験と、午後からの講演会、その後の交流会と大きく3部構成となっており、120名の方にご参加いただきました。

第1部の街歩き体験は、堺市旧市街の環濠エリアでご用意した4つの「体験プログラム」のいずれかに参加いただき、街歩きや施設の見学を通して、堺の歴史や文化を学んでいただく企画です。

<4つの体験プログラム>

- Aコース 水野鍛錬所見学 ～明治5年創業の日本刀・庖丁を鍛える工房～



- Bコース さかい待庵(さかい利晶の杜)見学 ～国宝茶室「待庵」の復元～



- Cコース 空襲を免れた街並みを巡る(北部エリア) ～元堺市文化財課 井溪氏の案内～



- Dコース 千利休ゆかりの地を巡る(南部エリア) ～堺観光ガイドの案内～



第2部の講演会では、建築史家・建築家の藤森照信東京大学名誉教授にご講演いただき、その後、藤森氏と建築史家で大阪公立大学の倉方俊輔教授とのトークセッションをしていただきました。

藤森先生の講演では、千利休以降、亭主が室内で火入れして客人に茶を立てるようになった茶の湯文化の変遷や、茶室と火の関係性、二畳という極小空間の「待庵」についてなど、千利休の茶室のお話から、改めて、空間デザイナーとしての千利休の偉大さを感じました。

また、藤森先生自ら手掛けられた高過庵や、宙に浮かぶ茶室(空飛ぶ泥船)、低過庵などユニークで唯一無二の茶室を紹介していただきました。

さらに、茶室以外の建築作品として、茅野市神長官守矢史料館や多治見市モザイクタイルミュージアム、近江八幡市のラ・コリーナの紹介もして頂きました。

トークセッションでは、倉方先生の知識に裏付けされたトーク技術により、次々と話題が展開しながら、建築家としての藤森先生の魅力に迫る、大変内容の深い講演会となりました。事業のタイトルである「千利休×藤森照信 in 堺」も強く意識をして頂いたお二人の話には利休や堺への話題はもちろんの事、建築史家ならではの視点で、建築家の思想観やその空間表現の変化、更には建築手法についての考察も伺え、事業に参加された沢山の方々にとって記憶に残る大変貴重な機会になったことと思います。



その後、コロナ禍で久しく開催できていなかった「交流会」を「はや総本店」にて開催しました。60名を超える方々にご参加いただき、講師の藤森先生、倉方先生や参加者同士で交流を深めることができました。



今回の事業の実施に当たり、大阪府建築士会の皆様にご多大なご協力を頂きました。改めて御礼申し上げます。

「近建青」では今後も様々な事業を企画し、実施して参りますので、引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

# 2024年 「建築人賞」作品募集

## 「建築人Gallery」掲載作品は 『建築人賞』の候補作品です。

公益社団法人大阪府建築士会は、会員サービスの一環として会報誌「建築人」を毎月発行しています。本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布し、発行部数は約3,000部です。「建築人」の誌上で「Gallery」の建築作品紹介コーナーを設け、現代建築の様相を反映できるものとして好評を博しており、毎年1月号～12月号のGalleryに掲載された作品が「建築人賞」の審査対象になります。

「建築人賞」は2009年に創設され、個人の審査委員長により選考し、表彰式は翌年5月の本会の定時総会で執り行われます。「建築人賞」「同賞新人賞」「同賞奨励賞」「同賞佳作」があり、「建築人賞」「同賞新人賞」の設計者には記念品が授与され、各賞の建築主、設計者、施工者にはそれぞれ賞状が贈られます。ぜひ本誌に皆様の建築作品の掲載をお願いいたします。



建築人賞



建築人賞新人賞



佐久間 靖 (ガラスアーティスト)

1971年 大阪府高槻市生まれ  
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業  
1997年 関西ロケレールプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事  
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

## 「建築人」Gallery 掲載要項

### ■ 掲載概要

1頁カラー、写真4点程度、説明文300字程度

### ■ 掲載事項

- ・建築主、設計者、施工者、協力会社
- ・所在地、用途、竣工年、構造規模、敷地面積、建築面積、延床面積

### ■ 掲載料

110,000円(本体100,000円+消費税)

※1 初回割引 88,000円(本体80,000円+消費税)

(過去10年間で設計者及び施工者がGalleryに掲載されていない場合が対象です)

※2 若手初回割引 55,000円(本体50,000円+消費税)

(※1を満たす方のうち、40歳以下かつ建築設計事務所を主宰されている方が対象です)

### ■ 問合せ・申込み

公益社団法人大阪府建築士会事務局 担当:母倉

e-mail: info@aba-osakafu.or.jp TEL: 06-6947-1961 FAX: 06-6943-7103



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ  
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業  
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)  
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師  
2002年 フリックススタジオ共同主宰(～2020年)  
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師  
2020年～ Office Bunga共同主宰

## 建築士会からのお知らせ

### 既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

- (業務内容)
- 耐震診断報告書の審査、評価
  - 耐震補強計画書の審査、評価 等
- (対象建築物)
- 公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
- (会員特典)
- 申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10%割引があります。

### 令和6年建築士試験案内

受験申込は、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。

■二級・木造建築士試験

- ◇インターネットによる受付期間  
令和6年4/1(月) 午前10時～  
4/15(月) 午後4時
- ◇学科試験日 二級 7/7(日)  
木造 7/28(日)
- ◇設計製図試験日 二級 9/15(日)  
木造 10/13(日)

■一級建築士試験

- ◇インターネットによる受付期間  
令和6年4/1(月) 午前10時～  
4/15(月) 午後4時
- ◇学科試験日 7/28(日)
- ◇設計製図試験日 10/13(日)

※受験申込の詳細については、建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jaic.or.jp/>

### 令和6年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)  
4/24、5/30、7/26、9/26 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理

業務に役立ちますので、ぜひ受講下さい。

日程 4/24(水)、5/30(木)、7/26(金)、  
9/26(木)

時間 8:55～17:00

会場 本会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円  
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページより  
お申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

### ～公益社団法人日本建築士会連合会 災害対策委員会編集～ 浸水被害住宅の技術対策マニュアル解説講習会

4/25 CPD3単位

1月に発生しました能登半島地震の津波による甚大な被害や大阪でも記憶に新しい平成30年の台風21号の西日本豪雨災害による浸水被害、近年各地で頻発する線状降水帯により多発する風水害に対して、防災はもとより発災後の復旧措置の迅速な対応が求められております。

この度、日本建築士会連合会の災害対策委員会では建築士を含めた建築技術者が被災住宅等の復旧に取り組む際に、被災地の復旧対策の知見や貴重な体験データを集めた実用的指針としての技術対策マニュアルが策定されました。いつ来るかも知れぬ災害に対処するため、災害復旧支援活動の技術者育成と水害復旧の予備知識の習得を目的とします。ぜひお気軽にご参加ください。

日時 4/25(木) 15:00～18:00  
集合受付14:30～

講師 佐藤幸好氏  
(有限会社佐藤建築企画設計取締役会長)  
(日本建築士会連合会災害対策委員長)

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 50名(申込先着順)

受講料 建築士会会員・行政3,000円  
一般4,000円

### 大野治代氏 日本色彩学会賞受賞記念講演 ～色彩とわたし～

4/19 CPD2単位(予定)

身近にあふれている色は、単に色という存在だけではなく、その影響が心理面にも大きく作用していることをご存じですか? 選挙ポスターの色づかいが東京と大阪で異なっている理由は? 大学卒業後から今日までの時代の変化と色のとらえ方等、色彩研究についてお話いただきます。

日時 4/19(金) 18:30～20:30

会場 大阪市中央公会堂

講師 大野治代氏

参加費 無料

定員 限定50名(先着順)

申込 大阪府建築士会 青年・女性委員会

神戸ウォーカー  
鈴木商店の栄光の残像と昭和レトロ建築を巡る  
チャンスは今しかない、ヘリテージの今後を考える。

4/20 CPD3単位(予定)

日本を代表する商社の基礎となる鈴木商店(明治7年創業)の本社跡や今なお残る昭和レトロの建築物を視察していきます。その中で兵庫県建築士会のヘリテージマネージャーでもある竹内明子さんから現事務所の松尾ビル(大正4年築で現役のエレベーターがある)のお話を頂く機会を持ちます。しかし、その松尾ビルも近接するマンションの計画により、現状の外観を見ることができなくなります。チャンスは今しかありません。是非ご参加ください。

また、懇親会には竹内明子さんが参加しますので、お楽しみに!

日時 4/20(土) 14:00～18:30

集合場所 神戸駅(JR)中央出口  
13:30 集合・受付

定員 20名(定員に達し次第締切)

参加費 会員1,000円 一般2,000円

懇親会 場所 三宮 会費 5,000円(未定)

## その他のお知らせ

### 大阪府登録文化財所有者の会 『御財印めぐり』

『御財印めぐり』とは、各地で大切に継承されてきた文化財等のデザインを表した「御財印」(御朱印の建物版)を集めながら、その地域の文化・歴史や建物を知り、地域の人たちとのふれあいを楽しく旅です。令和2年よりスタートし、令和5年4月には65か所に御財印が設置されています。『御財印』や『御財印帳』の頒布による収益は、文化財継承のために活用されます。是非、御財印めぐりを楽しんで下さい。

問合せ 大阪府登録文化財所有者の会  
事務局 info@osaka-tobunkai.org  
詳細は『大阪文化財ナビ』に掲載  
<https://osaka-bunkazainavi.org/>

### 定期報告の動画配信サイト「定期報告WEB OSAKA」のご案内

一般財団法人大阪建築防災センターでは、建築基準法第12条に基づく定期報告制度について、調査・検査に役立つ情報や啓発動画などを、動画配信サイト「定期報告WEB OSAKA」より発信しております。

有料の講習動画、無料の情報動画・啓発アニメーションなど、定期調査・検査実務のスキルアップや定期報告に関する情報の収集等に役立ていただける内容となっております。ぜひ、以下のアドレス又はQRコードよりアクセスいただきご覧ください。

<https://teiho-webosaka.stores.play.jp/>



### 近畿職業能力開発大学校主催 能力開発セミナーのご案内 建築設計のための コンピュータショナルデザイン

6/5、6/12

本コースでは、Rhinoceros(ライノセラス)のGrasshopper(グラスホッパー)を使用して、建築設計実務において役立つ外壁や内壁のデザインに関する検討方法を学びます。具体的には、パネルやタイルの割り付けや配置、目隠しなどのルーバーの形状や間隔の決定、材料の積算などの作業を、お客様との円滑なコミュニケーションと迅速な合意形成のための手法とともに習得します。

日時 6/5(水)、12(水)  
10:00～16:45(2日間)

受講料 12,000円(税込)

対象者 建築設計の実務者  
(ソフトウェアの使用が初めての方でも受講可能)

申込 下記より受講申込書をダウンロードのうえお申込みください。

[https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/corporate/se\\_application/index.html](https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/corporate/se_application/index.html)



### 本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか?

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。ぜひ本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか。なお、掲載作品は本会が表彰する「建築人賞」の候補となります。掲載ご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

- 掲載記事 1頁カラー、写真4点程度(詳細は本誌Galleryページ参照)
- 掲載費用 100,000円  
※1 初回割引80,000円(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)  
※2 若手初回割引50,000円(40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方)
- 詳細・申込 事務局担当:母倉  
e-mail: info@aba-osakafu.or.jp  
TEL:06-6947-1961

主催：公益社団法人大阪府建築士会

企画：社会貢献部門 地域まちづくり委員会 防災分科会



～公益社団法人日本建築士会災害対策委員会編集～  
**浸水被害住宅の技術対策マニュアル 解説講習会**

1月に発生しました能登半島地震の津波による甚大な被害や大阪でも記憶に新しい平成30年の台風21号の西日本豪雨災害による浸水被害、近年各地で頻発する線状降水帯により多発する風水害に対して、防災はもとより発災後の復旧措置の迅速な対応が求められています。

この度、日本建築士会連合会の災害対策委員会では建築士を含めた建築技術者が被災住宅等の復旧に取り組む際に、被災地の復旧対策の知見や貴重な体験データを集めた実用的指針としての技術対策マニュアルが策定されました。いつ来るかも知れぬ災害に対処するため、災害復旧支援活動の技術者育成と水害復旧の予備知識の習得を目的とします。ぜひお気軽にご参加ください。

日時：令和6年4月25日（木） 15時00分～18時00分（受付14時30分～）

会場：大阪府建築士会 東会議室

講師：佐藤 幸好 氏（（有）佐藤建築企画設計 取締役会長）

（（公社）日本建築士会連合会 災害対策委員長）

募集：50名（申込先着順）定員に達し次第締切ります

参加費：3,000円（建築士会会員、行政）、4,000円（一般）

テキスト代、消費税（10%対象）を含みます

申込み：下記サイトから4/15までにお申込ください。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/O2a2g5hxfik31.html>

または、下記申込書に必要事項をご記入のうえ、faxまたはメールにてお申込ください。

（公社）大阪府建築士会 社会貢献部門 地域まちづくり委員会 防災分科会  
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

TEL：06-6947-1961 FAX：06-6943-7103 Mail：info@aba-osakafu.or.jp

**\*お申込の方には、開催日の約1週間前にメールで参加証をお届けいたします。**



◆ 申込書 ◆

～公益社団法人日本建築士会災害対策委員会編集～  
**浸水被害住宅の技術対策マニュアル 解説講習会**

氏名	□会員No.( )・□会員外
勤務先	所属課名
ご連絡先 TEL：	FAX：
〒	
メールアドレス：	
今後、大阪府建築士会が行うイベント情報について、案内を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	

※ご記入戴いた情報は厳重に管理し、上記以外の目的に使いません。

風土に根づき、還暦を迎えて

弘前市民会館 一九六四年

文・写真 松隈洋〔神奈川大学建築学部教授〕

時が経つのは早い。二〇二四年二月一七・一八日、前日の降雪により薄っすらと雪景色に覆われた青森県弘前市の弘前市民会館を久方ぶりに訪れる機会があった。昨年四月から指定管理者となったひろさきホールディンググループの主催、弘前市の後援と地元「前川國男の建物を大切に作る会」の協力により催されたワークショップ「建築家前川國男の世界『弘前市民会館の魅力のすべて』冬編」の講師を依頼されたのだ。



南側から見るホール棟と付属棟

ホール内に入るのは、二〇〇六年五月一日以来、一八年ぶりとなる。おりしも、一八年前のその日は、二〇〇五年一月に東京ステーションギャラリーで始まった「生誕一〇〇年前川國男建築展」が弘前市立博物館へ巡回されていた。そのため、「大切に作る会」の主催で、一三日に、「生誕一〇〇年祭へ弘前で出会う前川國男」が、弘前中央高校講堂で開催された。また、前川が弘前で最初に手がけた木村産業研究所（一九三二



ホール客席と棟方志功の緞帳

年）が DOCOMOMO 一〇〇選に選ばれていたもので、代表の鈴木博之（一九四五〜二〇一四年）東京大学教授から理事長の木村文丸に、選定プレートが贈呈される。さらに、前川の下で最初に講堂を、最後に市民会館を担当した鬼頭梓（一九二六〜二〇〇八年）を交えたシンポジウムも催される。そして、生誕一一〇歳となる翌一四日は、市民会館に会場を移し、長く弘前の仕事を担当した元所員の仲邑孔一（一九三六年〜）の講演と、ウォン・ウインツァンのピアノのソロ・コンサート、山口啓介のカセット・ケースに生花を封じ込めたアート・ワーク「カセットプラント」の展示など、華やかな催しが重ねられた。今回訪れると、その後丁寧な改修工事が施され、行き届いた施設管理によって建物全体が良好に保たれ、凛とした雰囲気満たされていた。しかも、ワークショップには、東京から仲邑さんが駆け付けて元気な姿を見せ、「大切に作る会」の葛西ひろみさんも来られて、参加者と楽しく交流する光景が見られた。当時を思い出し、感慨深いものがあった。こうして、今でこそ、弘前市民会館は、弘前城址に強い存在感を放って息づいている。けれども、その道程には、厳しい前史が横たわっていた。敗戦後、空襲は免れたものの、明治から軍都として陸軍第八師団を抱えてきた弘前には、膨大な数の軍事施設や防空施設が残存し、その転用や撤去が大きな課題となっていた。ちなみに、前川が弘前市長の藤森睿からの依頼で最初に手がけた弘前市庁舎（一九五九年）は、第八師団長の官舎を移設した跡地に建てられた。また、弘前城の三の丸

と呼ばれる広場一帯にも兵器工廠と火薬庫が置かれていたが、戦後に総合運動場として市へ払い下げられ、一九四八年に市営野球場、一九五〇年に地下弾薬庫の窪地を利用した市営相撲場が完成する。この相撲場を撤去して建設されたのが、弘前市民会館なのである。その間、弘前市は、軍都から観光都市へ転換を図るため、城址のある弘前公園一帯を国の史跡指定地とすべく申請を続け、一九五六年十月に指定を受ける。また、市も文化財保護を進めるべく、一九六〇年に文化財保護条例を定め、弘前城址が都市公園法に基づく公園に指定される。このような経緯で建設された市民会館は、弘前公園内の崖地に面した南西の角地で、北西に弘前のシンボルである岩木山を遠望する場所にある。ここに、一三〇〇席のホールと集会室や会議室、結婚式場などを含む公民館的な機能が盛り込まれた。だが、敷地内に残る既存の図書館や野球場、老松などの既存樹木や遺跡との調整もあり、配置計画は難航を極めたという。しかも、実現したのは、常識的な配置ではなかった。大手門をくぐって東側からアプローチすると、高さ約一八mの舞台外壁がそそり立ち、来館者にお尻を向ける格好になるからだ。しかし、この配置によって、ホール棟のロビーを眺望の開ける北西側に取ることができ、南西側の集会室や会議室などが入る付属棟との間、長さ三六mの車寄せ棟の低い水平の庇がたが構成となる。こうして、中央の車寄せ棟越しに岩木山を望む雄大な視界を確保しつつ、左右に伸びやかな空間の広がるたたずまいを実現することができたのである。

それにしても、建物全体がコンクリート打放しの荒々しい簡素な素材で統一され、彫の深いスリット状の開口部が外壁の基調となつて、内向的な印象を受ける。前川にどのような考え方の変化があったのだろうか。設計担当者の一人、南条一秀は、次のような言葉を書き留めていた。

「外壁は図面にも見られるようにコの字型、あるいはI型の壁柱とも言えるコンクリート壁を開口に依じてアトランダムに配し、これに極力水平力を受持たせ、内部に開放された空間を作っている。その凹部に開口部を設けてサッシを雨雪から保護し、内部には仕上とインシュレーションをかねてエアスペースを作る。北国の建物は保温・凍害のため、一般ではさほど必要ではないと思われるようなことも注意しなければならない。限られた予算の中では、贅沢な保温材料・仕上材を使用することはできない。そのためにも必要以上に開口部を多くするのは好ましくなく、外部は打放しコンクリートの壁を主体とし、内部からの必要に応じた開口部をとかく単調になりがちの外壁に陰影を与えて、あるリズムを作っている。」（南条一秀「弘前市民会館の設計について」『建築文化』一九六四年十月号）

市民会館には、雪深い弘前の厳しい冬の気候に配慮した、周到なデザインが施されていたのである。東京オリンピックが開催される同じ年に、前川は、風土に根差す建築の姿を追い求めていたことになる。竣工から六〇年、その姿は、より確かな存在として、今も市民と共にある。

飽く  
ことなく、  
美しく。

“美しさ”への感動は儼く過ぎ去り、時が経つにつれて生じてしまう、慣れや既視感。そして人はまた、何かによって心を動かされる体験を欲し、変化を欲望し、新しいものを生み出すエネルギーを発現させてきました。一より美しいものを、より良いものを。

私たちユニオンは、ドアハンドルをはじめとする建築金物を“アートウェア”の領域へと磨き上げ、空間と人の心に語りかけてきました。

私たちを突き動かすもの、それは“美”への探究心です。飽くことなく追い求める美の先に、新しい感動が、新しい空間文化があると信じ、私たちは挑戦を続けています。



ARCHISM® SERIES新カタログ  
2024年4月8日 発刊

[www.artunion.co.jp](http://www.artunion.co.jp)よりお申し込みください。



株式会社ユニオン

[本社・大阪支店] 550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731

[東京支店] 135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811

[名古屋営業所] 454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221

UNION  
ARTWARE



大阪梅田の街並みを一新するファサード



道路上空で広さを確保し、自生種で生物多様性保全に寄与する屋上庭園